

学校だより



学校教育目標

くるだ

自分事として学び、共に活動する子

令和7年1月10日 第11号
富士宮市立黒田小学校
富士宮市星山 1030-2
電話 0544-26-2670

新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。学校・家庭・地域が一体となって教育活動に取り組んでいくことができるようご支援をお願いします。

未来の自分の歩みを支えてくれるもの

—自分の内に「正解」を見出す学び—

校長 米津 英郎

近代の学校教育には揺るがない「正解」が用意されていました。したがって、学校においては、こどもに「正解」を分かりやすく伝達することが重要な使命として求められてきました。しかしその結果として、自ら学習課題を設定し、課題解決に向けて仲間と協働的に学ぶという活動から遠ざけてきてしまったように感じています。

いや、近代の学校教育においては、このことは意図的になされていたように思います。では意図していたのは誰でしょうか。教員？そんなことはありません。近代の学校教育が近代国家のために存在していたことから推察すれば答えは明らかかなはずです。近代とはそういう時代であったし、近代の学校教育の起源から考えれば当然のことであると理解していただけたと思います。

しかし、現代においては「正解」が用意されていることに違和感を覚える人が多いのではないのでしょうか。例えば「ピカソの作品は、素晴らしいことに決まっている」とします。「素晴らしいものを素晴らしいと感じる情操を育成する」ということを使命とされてきた近代の学校教育においては、こどもに「ピカソの作品はとにかく素晴らしいのです。覚えなさい。」と教えることは決しておかしいことではありませんでした。

でも、このような学びは、こどもの学習意欲や探究的思考を鈍らせ、権威に屈従することを教えてきたように思えてなりません。余談ですが、ピカソの作品である「泣く女」を初めて見たときに「これは素晴らしい作品だ」と感じた人はどれほどいるのでしょうか。私は未だにそのような人に出会ったことがありません。

時代が近代を突き抜けた今、現代の学校教育に求められていることは、「正解」をこどもに伝達することだけではなく、こどもが自ら学習課題を設定し、課題解決の過程において「正解」を自分の内に見出していくような学びに変換させていくことだと思います。

自分の内に「正解」を見出す学びを通して、未来の自分の歩みを支えてくれる資質・能力が身に付くように指導していきます。3学期もよろしくお願いいたします。

楽しくて夢中になる活動を共につくる—こどものウェルビーイング

お話列車「クリスマス会」



お話列車の方が中心となり、全校に呼びかけました。当日は、100名近くの児童が参加し、素敵に飾り付けされた音楽室で、人形劇や歌などを楽しむことができました。

家庭教育学級「親子書き初め講座」



夏目和美様を講師に招いて、親子書き初め講座を行いました。広々とした音楽室で、子どもたちは集中して書き初めを書くことができました。

黒田小学習発表会

11月16日(土)に黒田小学習発表会を行いました。子どもたちは各教科や月の輪学習で学んだことをパソコンを使って説明したり、実際に体験してもらったりしていました。当日は多くの保護者の方に参観していただくことで、子供たちも張り切って発表に臨んでいました。ありがとうございました。



<5,6,7組 合奏>



<4年 そろそろ>



<6年 歴史劇>

1月、2月の主な行事予定

1月15日(水) お話列車1・2年
アルミ缶回収

21日(火) お話列車3・4年

24日(金) ひばり号

2月 1日(土) 富士山学習 PART II 発表会
(富士宮四中)

2月 4日(火) 授業参観②低③高
アルミ缶回収日

5日(水) 校納金振替日

7日(金) ひばり号

お話列車3・5年

14日(金) お話列車1・2年

20日(木) お話列車6年

